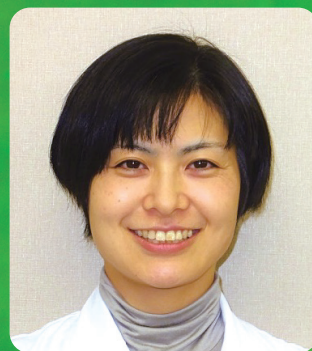


# エネルギーの 明日を考える



## 演題：低線量放射線と新型コロナにみる コミュニケーション

福島第一原子力発電所事故の後、被災地では放射線被ばくリスクと放射線避けることにより生じ得る健康リスクとのバランスを取ることが必要でした。今般の新型コロナウイルスパンデミックにおいても、感染のリスク・感染を避けるリスクを認識し、一人一人がそのバランスを取って生活する必要があります。そこで、放射線の健康影響について高い見識をお持ちで、福島県相馬中央病院で医療にたずさわれ、医療現場の最前線でご活躍されている越智小枝氏より、原子力発電所事故後と、コロナ禍において健康影響やリスクに対する人々の反応にどのような共通点があるのかを示し、適切なリスク選択を阻む3つの信仰：正義・正解・ゼロリスクについて、分かりやすく講演いただきます。

講 師

東京慈恵会医科大学  
臨床検査医学講座講師

お ち さ え  
**越智小枝氏**

東京医科歯科大学医学部医学科卒業（医師、公衆衛生修士、医学博士）。国保旭中央病院で研修後、2002年東京医科歯科大学膠原病・リウマチ内科入局。2007年より東京都立墨東病院リウマチ膠原病科医長を経て、2011年10月インペリアルカレッジ・ロンドン公衆衛生大学院に入学、2012年9月卒業後、福島県相馬中央病院に勤務。2017年より現職。

日 時

2020年 11月8日①  
14:00～16:00（開場 13:30）



QRコードからも  
お申し込み可能

会 場

掛川グランドホテル シャングリラスイート  
（JR掛川駅南口より徒歩1分）

定 員

●会場：70名

収容人数200名の会場ですが、新型コロナ対策で入場を制限、ならびに、消毒、検温、3つの密が重ならない対策等を行ってまいります。ご協力お願いいたします。

●YouTube同時配信します！！

講演会終了後も11月24日（月）17時まで  
中原懇HP上で公開

申 込

インターネット・FAX・ハガキでお願いします。

※お電話でのお申し込みはご遠慮ください。※詳細は裏面を参照してください。

**事前申込**  
会場は応募者多数の  
場合、抽選となります  
クッキーとコーヒー  
付いています。  
**入場無料**